

平成28年度「愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い」教育長あいさつ

平成28年8月27日(土)  
県生涯学習センター

本日、多数の皆様をお迎えして、平成28年度「愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い」を開催できますこと、心から御礼申し上げます。

御参会の皆様におかれましては、日頃から、県内各地におきまして、それぞれのお立場から愛媛の子どもたちの健やかな成長のために御尽力をいただいております、誠にありがとうございます。

また、御来賓として、文部科学省生涯学習政策局 社会教育課長 西井 知紀様には公務御多用の中、御臨席を賜わり、深く感謝申し上げます。

さて、急激な少子高齢化による地域社会のつながりや支え合いの希薄化が心配される中、地域の教育力の低下や家庭教育の充実の必要性が指摘されるなど、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しております。また、現代的課題として、子どもの貧困や有害情報対策などの問題がクローズアップされており、今まで以上に学校と地域の連携・協働が強く求められております。そうした中、昨年12月には、中央教育審議会から答申が出されました。一つ目が、地域住民等と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」への転換、二つ目が、地域の様々な機関や団体等がネットワーク化を図りながら、学校、家庭及び地域が相互に協力し、地域全体で学びを展開していく「子供も大人も学び合い育ち合う教育体制」の構築、三つ目が、学校を核とした協働の取組を通じて、地域の将来を担う人材を育成し、自立した地域社会の基盤の構築を図る「学校を核とした地域づくり」の推進でございます。

県におきましても、教育基本方針の第一に「社会総がかりで取り組む教育の推進」を掲げまして、家庭や地域の教育力の向上を図りますとともに、学校の創意工夫により、地域に愛され、信頼される学校づくりに努めるなど、学校、家庭、地域、企業等が連携・協働して、次代を担う子どもたちの健やかな成長を支援することを目指して各種施策に取り組んでいるところでございます。また、これまでの取組に加えまして、今年度は新たに、放課後の学習支援として地域子ども学び場の取組を進めるなど、地域や企業の皆さんが子どもたちの健やかな成長に一層関心を持ち、積極的に参画いただける機会の充実に努めております。

そのような中、この「集い」は教育という枠組みを超えて、保健・福祉、子育て支援、警察、企業等の多様な立場の方にも多数御参加いただけるよう、今年度は名称を変えますとともに土曜日に開催することといたしました。複雑化・困難化している子どもたちの多様な問題を共通課題としてとらえ、次代を担う子どもたちの豊かな教育環境の構築に努めますとともに、学校・家庭・地域の連携・協働した取組の一層の推進を図り、地域の大人一人一人の力をすべての子どもたちの愛顔のために幅広く生かしていただく契機となることを願って実施するものであります。本日は、島根県教育魅力化特命官の岩本悠先生による御講演と5つの個別テーマによる分科会での事例研究をとおしまして、研修や情報交換を行うこととしておりますので、それぞれの立場や経験に基づいた様々な視点から活発な御協議をいただきますようお願いいたします。

結びに、本日御参会の皆様のお健勝、御活躍を心からお祈り申し上げまして、主催者の御挨拶とさせていただきます。